

News Release

2019年3月1日

NTT東日本 福島支店

福島市におけるRPA実証実験への協力について

NTT東日本 福島支店(支店長:山口圭介)は、福島市(市長:木幡浩)が実施するRPA技術(※1)を活用した業務効率化の実証実験に下記のとおり協力いたします。

※1 RPA=Robotic Process Automation の頭文字。ソフトウェアロボットが業務プロセスを自動で処理する。

記

1. 背景・目的

自治体業務にはパソコンなどを用いた定形的業務が数多く存在しますが、RPAツールを活用して業務を自動化することにより、職員の手作業削減など、業務効率化が期待できます。

また、効率化した分の時間を創造的事業や市民とのコミュニケーションに充てることで、市民サービスの向上や、職員の時間外勤務の削減などの働き方改革も期待できます。

今回福島市では、働き方改革の一環として市役所にてRPAツールを活用した業務の一部自動化を試験的に実施いたします。

NTT東日本は、社内の業務効率化を通じて蓄積した『WinActor®』(※2)のノウハウを活用することで、「定形的業務の効率化」という、どの自治体・企業等にも存在する経営課題の解決に貢献できると考え、本実証実験への協力にいたしました。

NTT東日本は、今後も自治体業務のデジタル化を推進する新たなサービスの展開などを検討してまいります。

※2 『WinActor®』は NTT アクセスサービスシステム研究所で研究開発された技術をベースに、エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:木村文治)が商品化した純国産 RPA ツールです。

2. 実証実験概要

(1) 期間(予定)

① RPA ツール利用期間

2019年2月25日(月) ~ 2019年4月24日(水)

② 効果検証・コンサルティング実施期間

2019年3月中旬 ~ 2019年5月31日(金)

(2) 場所

福島市役所内(福島県福島市五老内町3番1号)

(3) 内容

RPA ツール「WinActor」を活用した福島市職員の定形的業務の自動化

(対象となる定形的業務)

- ・ 請求業務における支払伝票の作成
- ・ 所定様式への各種データの入力・転記

3. 役割

<福島市>

実証実験を実施する業務および実施場所の選定、RPA ツールのインストール端末の準備、RPA ツールの運用、実証実験結果の提供等

<NTT東日本 福島支店>

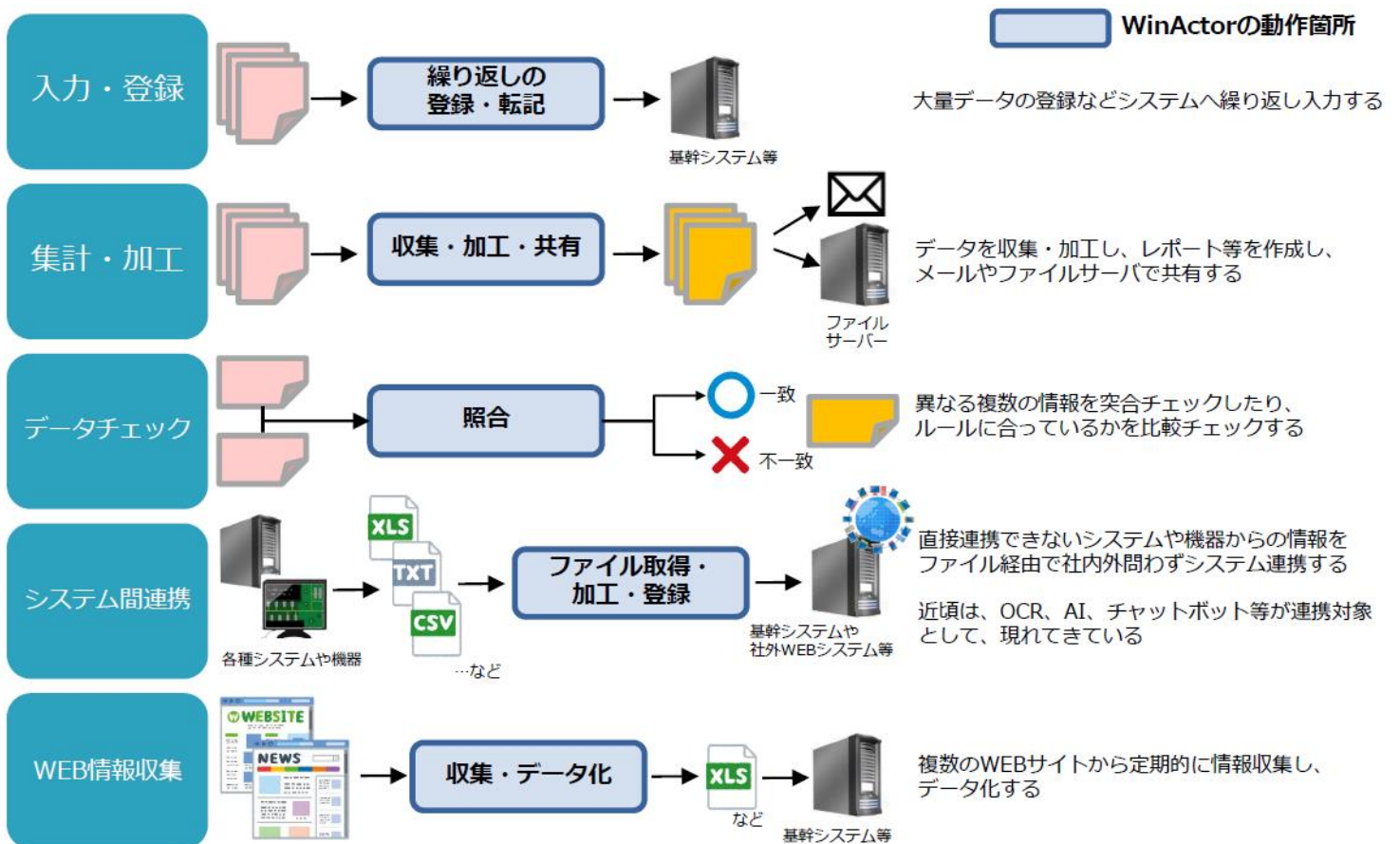
RPA ツールの提供、RPA ツールの導入支援(業務の絞り込みからシナリオ作成までの支援)、実証実験結果の取りまとめ等

4. その他

RPA ツール「WinActor」による業務自動化イメージは下図のとおり

以上

■ RPA ツール「WinActor」による業務自動化イメージ



<株>ミライト情報システム社 提供